

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年 5月 30日現在

機関番号：32689

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2010～2012

課題番号：22730148

研究課題名（和文） ヨーロッパと東アジアにおける民族主義と地域主義

研究課題名（英文） Nationalism and Regionalism in Europe and East Asia

研究代表者

舒 旻（SHU MIN）

早稲田大学・国際教養学術院・講師

研究者番号：20534986

研究成果の概要（和文）：

本研究は、ヨーロッパと東アジアにおける民族主義と地域主義との相互関係を検討したものである。三年間の研究を通じて、次の3点を成果として挙げられる。まず、中国、韓国、シンガポール、タイにおいてフィールドワークを実施し、東アジアにおける民族主義の実態を究明した。次に、「ボトムアップ」の視点から民族主義を考察し、両地域の比較を通して地域主義に対する民族主義の影響を明らかにした。第三に、民族主義と地域主義との関係性を検討することによって、比較地域統合論の既存の研究枠組みを広げ、新たな理論的な視点を提供することができた。

具体的な研究成果については、査読付きの論文3本と共著論文3本を出版したほか、国内学会およびアメリカ、アルゼンチン、オーストラリアで開催された国際学会においても研究報告を行った。

研究成果の概要（英文）：

This research project is an original attempt to chart the comparative dynamics of nationalism and regionalism across Europe and East Asia. On the whole, it has made three contributions to the field of comparative regionalism. Firstly, based on the fieldwork conducted in China, Singapore, Thailand and South Korea, the research has looked into the complex configuration of nationalism in East Asia. Secondly, the research adopts a bottom-up perspective to study nationalism in a comparative setting. In-depth case studies have revealed the oft-neglected roles of nationalism in mediating the process of regional cooperation and integration. Thirdly, the research has expanded the theoretical scope of existing literature, and initiated a new research agenda on the relationship between the state and regionalism.

The outcomes of the project include three peer-reviewed journal articles, three book chapters, and nine research presentations delivered at the academic conferences held in Japan, Argentina, Australia, and the US.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,300,000	390,000	1,690,000
2011年度	800,000	240,000	1,040,000
2012年度	400,000	120,000	520,000
年度			
年度			
総計	2,500,000	750,000	3,250,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：政治学・国際関係論

キーワード：国際協調論、地域統合論、民族主義、東アジア、ヨーロッパ

### 1. 研究開始当初の背景

ヨーロッパと東アジアにおいて、民族主義の勃発は地域間協力と統合に大きな影響を与えてきた。しかしながら、これまでの研究は、比較的な視点から民族主義と地域主義の相互作用を十分に検討していない。

本研究は、ヨーロッパと東アジアにおける地域主義と民族主義の相互関係に着目し、事例研究を通じて両地域の民族主義の実態と地域協力・統合に対する影響を実証的に考察する。

### 2. 研究の目的

民族主義と地域主義の相互作用は地域統合論の重要なテーマの一つである。特に、北東と東南アジアでは、国民国家の政治的正当性を高めることができる民族主義は東アジアの地域協力に大きな影響を与えてきた。

本研究は、地域協力と統合プロセスにおける民族主義の政治化に焦点を絞り、ヨーロッパと東アジアの経験を比較することを通じて、理論面と実証面から比較地域統合論の構築に貢献することを目的としている。

### 3. 研究の方法

本研究は、主に二つの方法を用いて、ヨーロッパと東アジアにおける民族主義と地域主義の相互作用を分析する。

一つは「批判的ディスコース分析」(Critical Discourse Analysis)。具体的には、地域主義と民族主義に関する論説を比較的に分析し、そのなかに隠れている政治的・社会的な権力関係を究明することである。もう一つは「空間モデルとその分析」(Spatial Modelling and Analysis)。具体的には、ヨーロッパと東アジアにおける地域主義と民族主義の政治的な動員力を解明するため、政府や主要政党の立場と世論との間にどのような違いがあるのかを考察することである。

### 4. 研究成果

本研究プロジェクトは、三年間にわたって実施した。

2010年度の研究は、先行文献の把握、世論調査のデータ収集、フィールドワークの準備と遂行に集中した。具体的には、(1)香港中文大学やシンガポール国立大学などの研究機構において先行研究と関連資料を収集し、ヨーロッパと東アジアにおける民族主義と地域主義の全体像を考察した上、理論的なフレームワークの構築を試みた。(2)大型世論調査

の Eurobarometer と Asiabarometer のデータを収集・整理し、両地域における民族主義と地域主義の実態に関する初歩的な分析を行った。(3)事例研究に関しては、ヨーロッパと東アジアでのフィールドワークの準備を行い、その一部を年度内に実施した。

その成果としては、ワシントンに開催されたアメリカ政治学会(American Political Science Association)年会と札幌に開かれた日本国際政治学会の研究大会で研究発表をした。本研究の理論的な枠組みとして、「国家と地域統合：東アジアとヨーロッパの比較から」をタイトルとする論文を完成し、共著論文の形で出版した。また、比較地域統合論の視点から、北東と東南アジアにおける地域協力・統合のリーダーシップに関する論文も発表した。

2011年度の研究は、現地における資料の収集と分析、フィールドワークの遂行、研究成果の発表に集中した。具体的には、(1)中国の上海・南京における歴史档案馆や韓国の延世大学などの研究機構において、東アジアにおける民族主義と地域主義に関する先行研究と資料を収集し、地域協力プロセスにおける民族主義の政治化問題を考察した。(2)東アジアにおける民族主義と地域主義の相互作用について、中国と韓国においてインタビューを実施した。

その成果として、アメリカのサン・ディエゴに開催された国際研究学会(International Studies Association)の2012年度研究大会で研究成果を発表し、同時に各国の研究者との交流を深めることができた。また、前年度に引き続き、Asiabarometerのデータに基づく中国の世論分析、ヨーロッパと東アジアの貿易関係、ヨーロッパと東アジアにおける地域協力の制度論に関して、学術論文を二本完成し、それぞれ共著論文として出版した。

2012年度の研究は、研究資料の収集と分析、フィールドワークの遂行、研究成果の発表に集中した。具体的には、(1)中国の上海図書館やタイのタマサート大学、チュラロンコン大学などの研究機構において、東アジアにおける民族主義と地域主義に関する資料を収集し、地域協力プロセスにおける民族主義の影響に関する諸課題を検討した。(2)東アジアにおける民族主義と地域主義の相互作用について、中国やタイにおいてフィールドワークを実施した。

主な成果として、アメリカのサンフランシスコに開催された国際研究学会の2013年度

研究大会で研究発表を行った。5月にアルゼンチンのブエノスアイレス、8月にオーストラリアのパース、また1月に東京で開催されたGR:EENワークショップでも研究発表をした。そのほか、日本公益学会の2012年度研究大会で「東アジアにおける民族主義と地域主義」をテーマとする研究報告を行った。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

① 舒旻、'Leadership in Regional Cooperation and Integration: A Functional Approach to East and Southeast Asia 1997-2009', *Waseda Global Forum*, No. 7, 2011, 363-383 頁。査読有

② 舒旻、'Balancing in a Hierarchical System: Pre-Colonial Southeast Asia and the Tribute System', *Waseda Global Forum*, No. 8, 2012, 227-256 頁。査読有

③ 舒旻、'Hegemon and Instability: Pre-Colonial Southeast Asia under the Tribute System', *WIAS Research Bulletin*, No. 4, 2012, 45-62 頁。査読有

[学会発表] (計9件)

① 舒旻、'Developmental States and Regionalism in East Asia', 2010 WOJUSS International Symposium, 早稲田大学, 東京 2010年6月。

② 舒旻、'Voting against Europe: Institutional Images and Policy Uncertainties in EU Referendums', American Political Science Association Annual Meeting, Washington D.C., USA, 2010年9月。

③ 舒旻、'The Clash between Nationalism and Regionalism: Comparing France's Referendum and China's Protest', 日本国際政治学会 2010年研究大会, 札幌, 2010年10月。

④ 舒旻、'Developmental State and Economic Regionalism in Post-1997 East Asia', International Studies Association Annual Convention, San Diego, California, USA. 2012年3月。

⑤ 舒旻、'Leadership in East Asian Regional Cooperation 1997-2009: A Functional Approach', GR:EEN Workshop, FLASCO, Buenos Aires, Argentina. 2012年5月。

⑥ 舒旻、'Developmental State and Economic Regionalism after the Asian Financial Crisis',

GR:EEN Workshop, University of West Australia, Perth, Australia. 2012年8月。

⑦ 舒旻、'Nationalism and Regionalism in East Asia', 日本公益学会 2012年度研究大会, 東京, 2012年9月。

⑧ 舒旻、'The Collapse of Functional Leadership in East Asian Regionalism', GR:EEN Workshop, 早稲田大学, 東京, 2013年1月。

⑨ 舒旻、'The Rise and Fall of Functional Leadership in East Asian Regionalism', International Studies Association Annual Convention, San Francisco, California, USA. 2013年4月。

[図書] (計3件)

① 舒旻、「国家と地域主義：東アジアとヨーロッパの比較から」、戴下史郎監修・吉野孝・弦間正彦編『東アジア統合の政治経済・環境協力』（東洋経済新報社）2011年。

② 郭定平・舒旻「中国：中国における福祉観と社会的調和」（ディンピン・グオと合著）、猪口孝編『アジア・バロメーター東アジアと東南アジアの価値観 — アジア世論調査（2006・2007）の分析と資料』（慈学社）2011年。

③ 舒旻、「インフォーマルな制度デザイン：ASEANの経験と地域制度の比較」、松岡俊二・勝間田弘編『アジア地域統合の展開』（勁草書房）2011年。

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況 (計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

舒 旻 (SHU MIN)

早稲田大学・国際教養学院・講師

研究者番号：20534986

(2) 研究分担者

( )

研究者番号：

(3) 連携研究者

( )

研究者番号：